



田村 計久

湯沢町の行財政改革について

町長答弁
定数削減を先の行財政計画で立てたが、あわせてこのたび早期退職者に対する優遇措置を職員に到達し、理解を求めた。

質問
人件費について

町長答弁
このことは再三指摘をされているが、我町の職員給は長い期間ラスパイルズ指数を見てわかるよ

質問
行政組織の体制はどうする。

町長答弁
効率的な運営をするために、課の統廃合を行う7課1室体制を検討中である。

質問
定数削減については。

湯沢町のホームページ



ホームページを有効に使った情報発信を

うに県下でも低いレベルにあった。まず経費の削減に取り組み、職員組合と話し合いたい。

質問

指定管理者制度の導入により行政の守備範囲を明確にする時期にきている。将来を見据えてさらに全体の見直しが必要と考えるがどう。

町長答弁

今回はいくつかの施設を制度の導入に伴い委託をした。今後、中央公園の管理や温泉施設を公募により委託をするが、さらに見直しを検討する。

質問

保育園、小学校の統廃合について、低年齢からの教育、小中一貫教育など、今後の教育について多くの議論がなされている。自然豊かな我町の子供達をどのような教育のもと社会に送り出すのか。

や、統廃合については多くの意見があり、時間をかけた議論をしていく必要があると思うが、このことについて伺います。

町長答弁

今すぐにとという話にはいかないが、地域のコミュニティである学校や保育園の統廃合は難しい問題である。

しかし、提案いただいた保育園に幼稚園を組み込むなど、町の宝である子供達の将来を考えて色々な角度から議論はしていきたい。

観光振興策の今後について

質問

財政改革が進むなか観光の町づくりや施策が遅れている。税収の基盤である産業の確立のために振興策が必要であるが、今後どのように進めるのか。

町長答弁

重要性は強く認識して

いる。県の関東圏への窓口として現在湯沢駅の活用をJR、県と協議していることとあわせ、一流の田舎町としての町づくりを進めたい。

町ホームページの更なる活用について

質問

多くの自治体が住民参加、情報公開、災害対策や観光客の誘致など、幅広い分野に至るまでインターネットを活用し諸サービスの上を図るとともに、職員の業務の効率化を高める取り組みをしている。我町のホームページは情報量も少なく見にくい感はない。新システムの導入をするべきと考えるが、いかがか。

町長答弁

導入以来数年経っており新体制を組む指示をしたが、多額の子算もかかることから数社の案を検討している。指摘の通りと考えているので19年度に開設したい。

一

質

問